

とちぎの子どもの学力について

1 「栃木県教育振興基本計画2020」の推進指標にみる学力

○推進指標：子どもたち一人一人の学力が向上しているか

－全国学力・学習状況調査の平均正答率－

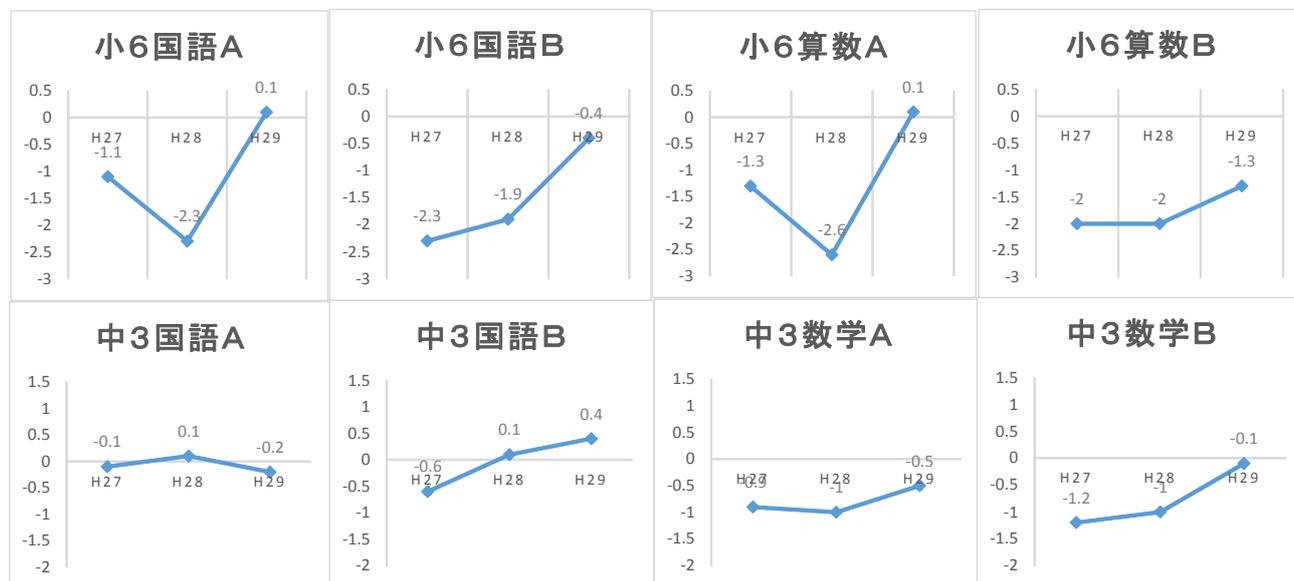
(全国の平均正答率と本県の平均正答率との比較)

	基準値(H27)	H28	H29※2	目標値(H32)
小6 国語A※1	▲1.1%	▲2.3%	0.1%	全ての教科で 全国平均正答率 を上回る
国語B	▲2.3%	▲1.9%	▲0.4%	
算数A	▲1.3%	▲2.6%	0.1%	
算数B	▲2.0%	▲2.0%	▲1.3%	
中3 国語A	▲0.1%	0.1%	▲0.2%	
国語B	▲0.6%	0.1%	0.4%	
数学A	▲0.9%	▲1.0%	▲0.5%	
数学B	▲1.2%	▲1.0%	▲0.1%	

※1 Aは、主として「知識」に関する問題。Bは、主として「活用」に関する問題。

※2 平成29年度の結果について、国では都道府県の結果を整数値で公表しているが、本県では、全国や過去の結果と比較するため小数で示した。

全国の平均正答率と本県の平均正答率との比較



【平成29年度の概況】

- 全国平均との比較では、8教科中7教科が±0.5ポイントの範囲にあり、全国平均とほぼ同程度である。
- 平成28年度と比較すると、8教科中7教科に改善が見られる。

## 2 平成29年度の主な取組

### ☆ とちぎっ子学力向上応援団派遣事業の実施

学習指導に実績のある「学力向上専門員」を、学習指導に意欲的に取り組む学校に、2年間派遣し、学校の課題解決に向けた取組を支援していく。177校の小・中学校に派遣している。

### ☆ 学力向上推進リーダー配置事業の実施

国語と算数の指導力に優れた小学校教員を学力向上推進リーダーに認定し、複数の学校に勤務させ、それらの学校における教員への助言等を個別に行うことで、教員の指導力向上を図っていく。学力向上推進リーダーは、今年度、14市町に配置している。

### ○ 学力向上検証委員会の実施

有識者による学力向上検証委員会で、とちぎっ子学力アッププロジェクト※3を検証し、県教育委員会が実施する学力向上対策の改善を図る。

※3 とちぎっ子学習状況調査を要として、小・中学校9年間の学びの連続性を重視した本県独自の学力向上システムを構築し、児童生徒一人一人の学力向上に資することを目的としたプロジェクト

### ○ 学力調査結果活用説明会の実施

全校悉皆による、県版調査及び全国調査の結果を活かした指導の改善に関する説明会を実施し、各学校の学力向上に関する取組の改善・充実を図る。

### ○ パワーアップ講座の開催

全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえて、指導方法の工夫・改善を図るために、教師対象の研修会を県内3箇所で開催する。

### ○ 市町との連携

市町教育委員会指導主事対象の研修会では、市町の学力向上に関する優れた取組等についての情報を提供し、市町の取組を一層の促進を図っている。また、学力向上に成果を上げている学校を調査し、その調査結果資料を各市町教育委員会及び各学校に提供するなど、学力向上に関わる有効な情報をタイムリーに提供している。さらに、県教育委員会指導主事が市町教育委員会主催の研修会で講師を務めたり、学校を訪問し、指導・助言をしたりするなど、市町と一体となって学校の取組を支援している。

☆は平成29年度新規事業